

カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i> (Makino) Kitam.	絶滅危惧 I 類
(環境省:準絶滅危惧)		キク科
選定理由	生育地が限定されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(清水英彦)
形態の特徴	茎は高さ15-30cm。葉は長さ10-15cm、幅3-5mm。頭花は舌状花のみからなり、直径1.5-2cm、総苞は長さ約10mm。舌状花は黄色。	
生態的特徴	河原の砂礫地に生育する。花期は5-8月。	
分布状況	本州の東北地方から中部地方にかけて分布する。岐阜県では県南の東部と中部にすこしある。	
減少要因	河川の改修によると考えられる。	
保全対策	生育地の保全。河川の改修を計画するときは、事前に調査を要する。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘